

# SSKR

## まうんてんえこお

### No.302

#### 目次

- 表紙 かぜ(山彦作業所)
- P2 法人本部事業報告
- P3 山彦作業所事業報告
- P4 やまびこ第二作業所事業報告
- P5 ワークショップ石神井事業報告
- P6 チャレンジワークやまびこ事業報告
- P7 やまびこ三原荘事業報告
- P8 相談支援事業所事業報告
- P9~10 決算報告
- P11 やまびこのペン

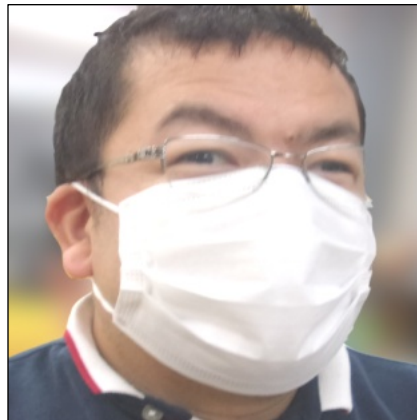
### やまびこのかぜ

利用者インタビュ  
緊急事態宣言（一時閉所  
と開所再開）を受けて

ー（職員 山田）緊急事態  
宣言を受けて、新型コロナ感  
染拡大防止策として4月中旬  
から作業所を閉所し、在宅支  
援に切り替えました。  
5月からは分散での通所を  
開始し、7月に入り、いよいよ  
全開所が始まります。みな  
さん、このコロナ禍（か）の  
状況の中、いかがお過ごしで  
したか？



都島さん



Tさん

ー（Tさん）最初はテレビをたくさ  
ん見るので、「やったー！」とい  
う気持ちでした。しかし次第に家  
にいるのは退屈で、つまらないとい  
う気持ちになりました。これから毎日  
通えるので楽しみです。やっと仕事  
に取り組める、嬉しい、という気持  
ちです。  
練馬区の合同運動会もなくなり、  
毎年個人で行っていた車両基地のイ  
ベントや列車フェスタも中止になっ

ー（都島さん）早く作業所に毎日通え  
るようにしたい、と思いながら過  
ごしていました。まだお弁当作業が  
再開していないので、早くお弁当の  
盛り付け作業をやりたいという気持  
ちです。全開所になることは、素直  
に嬉しいと感じています。やっと  
今までと同じような生活に戻る、  
という気持ちです。  
コロナに対する怖さより、通えない  
ことに対する気持ちが大きいです。  
毎日通いたいよ、という気持ちを持  
って過ごしていたので、全開所にな  
ったら作業をがんばりたいです。

### 山彦作業所



深澤さん

ーまとめ。まうんてんえこおの企  
画会議の中から、ふとしたきっか  
けで生まれた企画でしたが、思い  
を汲み取るとてもよい機会となり  
ました。  
3人の利用者さんに代表してお話  
を聞きましたが、その他の利用者さ  
んも同様に、作業所通所が楽しみだっ  
た！という声が多くありました。支  
援員として、とても嬉しく思う反面、

てしまいました。毎年楽しみにして  
いたイベントが全部なくなってしまう  
たので、とても残念です。  
ー（深澤さん）地下鉄を利用するの  
で、交通手段が怖いです。毎日コロ  
ナのニュースでうんざり。家族を代  
表して買い物に行ったりしてしまし  
た。これまでも食事を作ってしまし  
た。料理することが増え、より一層手  
になっかな？と思います。毎日通  
いたいんですけど、コロナが怖いとい  
う気持ちです。閉所中は家族と過ご  
したので、寂しさや辛さはなかった  
です。犬の世話を協力してやったり  
していました。これからは健康に気  
をつけてがんばっていききたいと思  
います。

## 2019年度 法人事業報告

### 法人を取り巻く状況

年度末になり、新型コロナウイルスの流行により世界的に社会混乱が生じる事態となりました。基礎的疾患を持つ方が多い障害者にとっては、不安や恐怖と隣合わせの生活となっていました。

この間、国や自治体からは連日様々な通知や解釈文書が送られてきており、現場ではこの文書を読み込むだけで多大な時間を要するため、なお一層混乱を深める事態ともなっています。施設、法人としてどのような対応をすべきか、日々試行錯誤の状態が続いています。

### ①やまびこ第二作業所と

#### 山彦作業所の場所問題

#### 【やまびこ第二作業所】

17年に「練馬区公共施設総合管理計画」が策定され、やまびこ第二作業所の建物は耐震構造上問題が生じる可能性があり、現在地での建て替え、または立ち退き転居等、早急に結論を出すことを求められておりました。同じ建物の2階で活動する「特定非営利活動法人 練馬区障害者事業所」（こぶし事業所）とも協議をしながら、練馬区や関係団体と事業を進めてきました。

### 【山彦作業所】

やまびこ第二作業所同様に「練馬区公共施設総合管理計画」に基づき今後大規模改修を要する状況時には、立ち退き等の対応を迫られます。山彦作業所の建物は建築後20年を経過しており、耐震上の問題は無いと思われませんが、雨漏り等の傷みがひどく、早急な対応が必要です。

他法人で施設の建物を買い取った例があり、当法人でもその方向で区と協議を進めてきました。

### ②相談支援事業をめぐる課題

事業としては一定の成果をあげていますが、経営上は厳しい状況にあります。前年度に引き続き理事、職員間での協議を進め事業の発展性や地域ニーズの把握、区の意向等を踏まえ、今後の事業の方向性を検討してきました。

現状では作業所職員が実質各1名欠員状態にあること、相談支援事業の報酬単価が低いことなど法人事業全体の見直しや、区との協議を要する事項があること等を勘案し、慎重に進めてきました。

現在、3所の統合が可能か検討をし、区との協議課題の作成に向けて準備を進めています。相談支援事業が区の障害者福祉の中で果たしている役割や成

果についても自己評価を進めます。

今後この事業をどのように考えるか法人だけの問題とせず、練馬区との協議も含め課題の整理を行います。

### ③職員研修育成について

前年度に特定処遇改善加算制度の導入が行われましたが、職員間に処遇の格差を持ち込む可能性があるため当面の導入は見送りました。

法人全体でキャリアパス要件を定めましたが、一般的な指標を示しているだけなので、必ずしも個々の職員の研修課題が明確ではありません。年度内にその課題を明確にする予定でしたが、現実には研修時間の確保が出来ず、計画的な研修にすることは出来ませんでした。

虐待防止については全職員を対象に研修を行い、グループワークを中心に日常業務の中での虐待の可能性を探る、考えるをテーマに研修を行いました。

### ④法人中長期計画の策定

相談支援事業の考え方については一定程度計画通りに進めてきましたが、総合的な中長期計画については進められず、次年度への大きな課題となっています。

以上

## 山彦作業所 2019年度事業報告

### ☆利用状況

入所者：女性2名  
退所者：男性3名

例年に比べると利用者の入退所が多かったように思います。2020年に新規入所者を迎え、在籍34名。平均年齢35・3歳（20年3月31日時点）。

### ☆支援

障害特性の多様化により、個別の支援が必要となることがありパーテーションを利用した作業環境改善に取り組みました。利用者の想いが尊重され安心して過ごせるよう支援していきます。

### 平均工賃

2018年度

10,450円

2019年度

11,479円

### ☆作業支援

平均工賃の昨年との比較は右記の通りです。目標の1万円を超えることができました。

下請け作業は時間をかけ構築してきた業者との信頼関係も積み重なり、作業依頼が増えました。受注増加で利用者の作業意識や能力の向上に繋がり、工賃も増加しました。お弁当作業もキャンペーンを実施し、売り上げが倍になる月もありました。

### ☆就労支援

就労を目指している利用者のためにチャレンジワークへの実習等を実施。実習前面談や反省会にも同席し、状況の把握と就労へのステップアップを関係者と話し

合いを行いました。

### ☆生活支援

健康診断を8月に実施。検診結果を配布しました。

### ☆給食

給食負担額は2018年度同様、1食、300円でした。

### ☆行事

辞令交付式、きょうされん東京大会、練馬区合同運動会、納涼祭、障害者フェスティバル、おつかれさま会、地域交流事業（バザー）、を行いました。

### ☆非常災害の対応

- （1）避難訓練。年2回実施しました。
- （2）定期的に消防点検を実施。（電気設備も定期的に点検）
- （3）防災対策。水・簡易食料・毛布・ラジオ・発電機等を災害時を想定し準備。
- （4）夜間監視業務。総合警備保障（株）による夜間機械警備（事務所）
- （5）災害時伝言ダイヤルの実施訓練2回。

### ☆会議

会議としては、法人内全体での合同職員会議、合同支援会議では利用者のケースを検討し、sp会議では作業や工賃アップについて話し合いました。また給食会議として、職員と栄養士、調理員での会議を月1回行いました。

### ☆広報・情報公開

作業所や法人、利用者、障害者を取り巻く社会情勢など広く知って貰うことを目的とした法人の広報誌「まうんてんえこお」に記事や近況を掲載しました。

### ☆家族会

第1回 6月15日（土）…作業所状況報告、「成年後見制度について」学習会  
第2回 9月21日（土）…作業所状況報告、ビデオ上映 地域交流（バザー）準備  
第3回 3月14日（土）…新型コロナウイルス

### ☆地域関連機関との連携

ボランティアとして、女性1名を受け入れました。週2回、半日程度。ボランティアを受け入れることにより利用者を見守る目が増え作業の効率も上がり、地域の方に山彦を知っていただくいい機会となりました。

### ☆練馬特別支援学校実習生受け入れ

- ①実習。練馬特別支援学校3年生1名。
- ②体験実習。2019年度参加者なし。
- ③見学者。各特別支援学校学生。家族等。

### ☆職員の研究・研修体制

2019年度も区の人材育成センターや法人内の研修に参加しました。

### ☆場所問題

場所問題は法人としては買い取る方向で調整をしていますが、財政的な問題や耐震上の問題等も対応が必要であり継続して今の場所で作業所活動が続けられるように引き続き練馬区と協議していきたいと思います。また家族への理解、協力の呼びかけや財政的な支援を目的としたシステムの構築を家族会にて相談させていただきます。

以上

# やまびこ第二作業所 2019年度事業報告

## 支援内容

### 1 生活支援 個別支援計画

個別支援計画作成会議を開催の上で本人と再度面談を実施しました。中間見直し、振り返りの面談も行い、次年度の計画につなげていきます。

### 健康診断

練馬第一診療所にて実施しました。受診後の結果をもとに、北保健相談所の保健師による学習会は、新型コロナウイルス感染防止の為、中止となりました。

### 家族会

11月に実施。参加家族は3名でした。  
内容…「住み慣れた地域で安心していきいきと暮らしていく為に」講師…梶 俊幸氏（田柄地域包括支援センター 介護支援専門員）レクリエーション（バスツアー）  
・10月「沼津方面 深海水族館見学」  
・1月「東京巡り」東京スカイツリー見学

### 休憩室、居場所の充実・おみそ汁会・ランチサービスの実施

休憩や、静養、そしておみそ汁会の調理の場としても利用していた作業所隣の軒家は、昨年4月末を以て引っ越しを完了致しました。利用者の休憩場所は狭くなりましたが、レイアウト等を工夫し、過ごしやすいスペースを確保しました。

おみそ汁会は不定期、ランチサービスはほぼ定期的に継続して実施してきましたが、現在は新型コロナウイルスの影響により延期となっています。

## 関係機関との連携を強化する

日頃の関係機関との連携は、これまで通り維持できています。

### メンバーミーティング

定例化につとめ、意見箱の活用を呼びかけました。ミーティングの時間を利用して「生活保護」、「グループホーム」、そして「チャレンジワークやまびこ体験談」についての学習会もおこないました。

### 2 作業支援 下請け作業

作業の責任をもって丁寧に正しく仕上げる姿勢は定着しています。新しい下請け事業所から作業をいただいたり、他作業所から分けていただき作業量確保につとめました。

### 外勤作業

練馬第一診療所清掃 毎週木曜日 1階部分は1名が継続。8月より、2階部分は2名が交代で行っています。3月からは3名で1階と2階を交代でおこなっています。

### 資源ゴミリサイクル作業

アルミ缶や段ボール箱リサイクルを実施しました。今年に入って近隣の郵便局から資源ゴミを定期的にいただくことになりました。

### 工賃支給

毎月15日を基本に支給しました。支給前には会計の説明を行い、作業場に内訳表を貼り出すことで透明性にも努めました。

### 月平均工賃額

目標15,000円  
実績14,785円  
工賃支払総額は488万円となりました。

## 3 地域との関わり・その他の活動

### 地域交流事業等の実施

・地域交流事業等の実施  
10月にバザーを開催する予定でしたが、台風による影響で中止しました。  
・資源ごみ、アルミ缶回収での地域とのつながり

新規で、地域の郵便局より定期的に提供をしていただいています。

アルミ缶回収については、消極的ではありませんが、ポスティング作業による地域とのつながり

近隣の商店街からのチラシの配布を行いました。

### 非常災害時の対応

・非常時対応マニュアルを策定しました。  
・避難訓練 9月20日実施  
・総合防災訓練 1月28日実施  
・防災設備 定期的に消防点検を実施しました。  
・防災対策 水・簡易食料・毛布等の準備をしました。

・夜間監視業務 警備会社による夜間機械警備

### 苦情・相談窓口

当事業所における苦情の受付やご相談、連絡先等を利用者に分かりやすく掲示しました。

以上

## ワークショップ石神井 2019年度事業報告

### ☆2019年度の事業報告

#### ●概要

在籍者（33名）（2020年3月31日現在）

○入退所状況

・1名入所、2名退所（他部門1名転居1名）

・待機者3名

・入所問い合わせ52件

・見学者18名

#### ●2019年度の目標と取り組み

「1」利用者が安心して、頼りがいのある作業所になる。

①利用者が活躍できる作業場にする。

・会社から送られてくる「作業指示票」を説明し、資材数、作業手順、ラベル位置等の確認と理解に努めた。

・利用者が作業資材の置場がわかりやすくなるよう「掲示票」を掲示した。

・作業をペアやグループで行った。必然的に利用者間でコミュニケーションを取ることも増え、作業に関する説明や注意をしあうことも増えた。

・全ての利用者が作業に参加できるよう工程を細分化した。

②就職したい利用者への支援

・ここ数年就労に結びついて利用者が

希望する利用者が増えてきた。練馬区障害者就労センターと連携して2名就労に結びついた。

③暮らしの場を探す

・7名がグループホームを利用しており、そのうち5名が3年間の期限ある通過型地区担当保健師や相談専門員と連携して運よく3名が滞在型のグループホームに入居することができた。しかし、練馬区内の滞在型は定員が一杯で、一名が狭山市に引越すことになり作業所を卒業することになった。長く住み慣れた街を離れざるえない状況を解決したい。

④ご家族の悩みを聴く。

・11名のご家族で懇談会を行った。作業所への要望を伺った。また、グループホームとはどのようなところか「やまびこ三原庄」を紹介した。様々な具体的な質問がでて関心の高さがうかがえた。

⑤加齢で腰痛やからだの痛みがでている利用者へ

・膝や腰の痛みで整形外科を通院している利用者が多い。

・予防も含めて、からだをケアするプログラムは実施できなかった。

・理学療法士等に相談したい。

「2」安定した作業を確保して工賃を増やす。

・練馬区農福連携事業の説明会に参加、2020年度から、事業開始予定。

・新規にパソコンを使用している作業を試行。

・2019年度の工賃内訳

平均工賃額6,601円

月の最高額（平均13,540円）

「3」職員が人権感覚を磨き成長を実感できる職場にする。

・常勤と非常勤全員で朝と夕方に利用者支援・作業等について話し合うようにした。

・法人の虐待防止研修では「グレイゾーンについて考える」をテーマに高山先生を講師に学習した。

以上



## チャレンジワークやまびこ 2019年度事業報告

### ☆2019年度の事業報告

#### ●はじめに

チャレンジワークやまびこが開所して今年度は3年目の年となり、今年度は定員の5名からスタートし、年間で3名の就労者を送り出す事が出来ました。

プログラム内容に大きな変化はなく「失敗から学ぶ」を基本に事務系・清掃系や軽作業など実践に即した形で個々の要望に応えられるよう努めました。集団プログラムにおいては昨年同様、コミュニケーション能力・ビジネスマナーや体力面を考慮したものを中心に行いました。その他には昨年同様に法人からの依頼作業として夏季商品やカレンダー販売を有償で行いました。働いてその対価を受け取る喜びと責任を体験することが出来ました。

今年度も1年を通して個別支援計画を中心に個々の支援を行うことで就労を目指してきました。今後は就労者を出した後に出来るだけ早く入所者を確保し年間通じて安定した通所率を維持していくことも大きな課題と感じました。

#### ●2019年度就労実績

- ・事務補助 1名（9月入社）
- ・軽作業 1名（11月入社）
- ・介護補助 1名（1月入社）

#### ●就労移行支援の内容

ミーティング・振り返り・1人一言や話題提供当番などコミュニケーションを行う場を多く設けその能力の向上に努めました。ここは訓練の場なので間違いから学ぶ大切さを大事に1年間支援してきました。

##### （1）就職支援

・各種プログラムに加えスーツを着用してハローワーク等に行く機会を設けて就労意欲を向上させるよう努めました。

・集団面接会や個別面接に同行し利用者のサポートを行いました。

##### （2）就労実習

・職場実習に1名参加をしました。

##### （3）定着支援

・就労後も連絡を取り合い会社での面談等を含め状況把握に努めました。

・問題や困りごとがあったときは関係者と連絡を取り合い情報共有に努めました。

#### ●運営（抜粋）

##### （1）非常災害時の対応

・2月17日にワークショップ石神井と合同で練馬区防災カードや防災マニュアルを使用して総合防災訓練を行いました。

##### （2）苦情解決

・苦情解決第三者委員の名前と連絡先を利用者の目につきやすい掲示板に掲示しました。

##### （3）虐待防止

・虐待防止研修で学んだことを基本に日頃から意識を高めて職員全体で虐待防止に取り組みました。

##### （4）危機管理

・「危機管理マニュアル」に則り施設管理を行いました。

##### （5）職員会議

・日々の活動の点検や改善、事業計画の実施をはかるため、事業所内で職員会議を行ったほか、月に1度、練馬山彦福祉会内で行われる合同職員会議に参加しました。

##### （6）広報活動

・法人の他事業所と協力して定期的に機関誌の発行を行い、法人のホームページに事業に関する情報を公開しました。また地域の方へ施設公開も行いました。

##### （7）地域関係機関と連携

・地域との連携を深めることを目的に、練馬区内の様々な会議に参加しました。

##### （8）研修

支援上必要なスキル向上と運営に必要な報酬に関する研修を中心に参加しました。

以上

## やまびこ三原荘 2019年度事業報告

### ■ 入居者の状況

●新規入居者3人。

通過型に2人。滞在型に1人。

入居前の住居は、精神科病院入院が2人、アパートから1人。

●退居者2人。通過型からアパート単身生活／通過型から精神科入院してそのまま退居

●精神科病院への入院は、4人。

●平均年齢は54.3才。（18年度は54.1才）

●日中活動は、

就労継続支援B型…6人、デイケア…4人、OT…2人、生活支援センター…2人、一般就労…1人、所属なし…1人。

### ■ 新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス対策として、2月下旬より、職員・入居者の検温、手洗い等の徹底、食事サービスとミーティングの小グループ化等を行いました。年度内で、コロナウイルス感染または感染疑いの者は出ませんでした。

### ■ 事業の実施状況

#### 1. 生活の安定・向上

●健康管理等生活支援

・金銭管理・服薬指導、服薬確認、外来受診や訪問看護との連携を行いました。必要に応じて買い物への同行、居室の清掃等の支援を行いました。

●健康診断とそれに合わせた対応

3月に入居者8人実施。それ以外は日中活動先等で受けました。

●家庭との連絡・相談

入居者の生活上での課題対応などで家族との連絡・相談を行いました。

●顧問医との相談

月に1回、世話人から入居者の状況を伝えて助言を受けました。

●食事サービス

夕食週3回（日・火・木）、朝食週3回（火・木・金）行いました。利用人数は8～13名

●昼食づくり

毎週土曜日に行いました。利用人数は7～11名。

●余暇支援

DVDレンタルでの映画鑑賞、クロスワードパズル、お花見散歩、作品作り（利用者数名でのちぎり絵、モビールなどの作成）などを行いました。

●退居への準備、退去者への支援

退居者に対し、アパート単身生活への準備等を行いました。また、退居後に居室訪問や電話連絡等を行いました。

#### 2. 入居者どうしの良好な関係づくり

（1）入居者ミーティング

毎月第2週火曜日と、最終火・木曜日のどちらかに参加するミーティングを行いました。新型コロナウイルスの影響で、3月の一部を中止、人数を半々のグループに分けて行いました。

（2）ユニットミーティング

本体2階は月に1回程度、1階及び3階は年に数回行いました。

（3）食事会

7月と12月に食事会を行いました。法人理事が参加し、近隣のレストランと集会所で行いました。

#### 3. 住環境の維持・改善

（1）建物及び敷地内の維持管理

本体のエアコン交換、退居して空室になった居室のクリーニング等を行いました。

### ■ 非常災害時の対応

12月に自動火災報知器と通報装置の点検を行い、合わせて、火災時の避難訓練を行いました。災害時用備蓄の見直しと追加購入を行いました。

### ■ 運営体制

●苦情解決体制

入居者などからの苦情の申し立てはなかった。11月に苦情解決第三者委員との面談を実施した。

●研修

内容・テーマ（実施期間）

◆地域生活支援拠点等の面的整備における事業者間の連携について（練馬区障害福祉サービス事業者連絡会）

◆施設見学 おおいずみまちホーム（同）

◆地域生活支援拠点について（居住系サービスを中心に（同））

◆グループホームと通所先との連携について（同）

◆居住支援法人について（東京都精神障害者共同ホーム連絡会）

●第三者評価

5月に事前打ち合わせ、6月に職員の書面調査、7月に利用者面談調査、8月に管理者への訪問調査を行い、3月に調査結果が報告された。

以上

## 相談支援事業 2019年度事業報告

相談支援事業所は開所して丸6年を経過しています。この間、3事業所は地域に根ざした活動を大切にしてきました。決してニーズを制度を当てはめるだけの「手続的」な活動だけにならないように日々気を付けています。

ただ、運営的な課題も大きく、法人内で検討会を開き、今後についての話し合いを始めています。

### ■山彦相談支援事業所■

年度途中の11月から相談支援専門員が交代しました。引き継ぎ等は充分とは言えないため、計画書の依頼に対しては、前回の計画書を踏襲するような形で対応することも多く課題が残りましたが、懸命に対応してきました。

現在新規の作成依頼は受けていません。兼務であるため職員に余裕がないことが大きな原因の一つですが、前年度に作成した計画書の確認（内容理解）をすることに集中しています。新たな依頼への対応は困難な状況です。

1月以降は新型コロナウイルスによる影響が大きく出てきました。何名かの方は直接会うことが難しくなり、文書と電話のやり取りだけで計画を作成せざるを得ませんでした。家庭訪問や施設、職場への訪問が制限され生活の様子を直接伺う機会が持てずに、ニーズを十分に反映した計画書になっていったか一抹の不安をおぼえます。

作業所職員との兼務のなか、相談支援員が一人で業務を行う体制のため、複合的な視点で支援を考えることが難しく、どうしても独善的ななってしまう危険性を感じています。日中の通所系の福祉サービスがある程度利用できている

方は、支援の手も様々あり、相談相手も複数ある方が多いですが、週1回訪問系のサービス以外はほとんど支援者との接触がない方などへの関わりは相談支援専門員としてはもう少し関わりを持ちたいと思うことがあります。

単なる福祉サービスのコーディネートだけではなく、生活の質の向上をどう一緒に考えていけるかが相談支援事業に求められているように思えます。

### ■やまびこ第二相談支援事業所■

利用者・家族・関係者との関係を深めて来ていると思いますが、新型コロナウイルスの影響により、電話やメール、手紙での対応が続いています。今後の業務のあり方自体にも大きな影響を与えていると思います。そのような中で大きな出来事を3つ上げます。

①山彦相談支援事業所の相談員の交代 事業の脆弱性・1人職場の難しさを痛感しました。3所の統合がしていれば、質の向上や運営面での効率化を進める可能性があったことに気が付く出来事でもありました。

②報酬単価の完全な移行に着いていけなかった本単価の減額に合わせ、加算による成果主義に切り替わっていますが対応が出来ませんでした。書類や事務量の多さに適応できませんでした。20年度の課題として残りました。

③コロナウイルスの感染拡大・業務の見直しや工夫をせざるを得なく、日頃の業務を見直す契機ともなりました。しかし、それ以上に利用者・家族が置かれている過酷な状況を改めて知ることもありました。今後への課題としていきます。

### ■ワークシヨップ石神井 相談支援事業所■

19年度から居宅介護や就労移行支援など一部のサービスにおいて支援の必要性の観点からモニタリング期間が短縮されました。（6ヶ月毎から3ヶ月毎に）

利用者や事業者から話を聞く機会が増えるため問題点の改善など早い段階で対応できるメリットはありますが、3ヶ月毎のモニタリングに慣れていないため慌ただしく感じました。

19年度の特徴としては電話の件数が昨年度より25%増え、1つのケースに対して複数の関係機関等に連絡する事が多く、深刻なケースが多くみられました。

電話による利用者からの相談内容は、対人関係・金銭・体調などによるメンタル面の悩みや通所先の変更希望が多く、家族からは将来の不安や家族内の人間関係についての相談、事業者からは利用者の支援に関する相談や連絡が多くありました。

悩み相談から緊急時の対応まで様々であるため相談支援事業所では対応できないことも多く、事業者・保健相談所・福祉事務所等と連携して支援にあたりました。

今後も家族や支援者と連携を図りながら、より充実した支援を目指したいと考えます。

相談支援事業については、法人全体の中でどのように運営を続けることができるか人材面や財政面など様々な視点から検討を重ねてきており、引き続き検討を行っていきます。



貸借対照表  
2020年 3月 31日現在

社会福祉法人 練馬山彦福祉会

| 資 産 の 部           |             |            |            |               |                |             | 負 債 の 部              |             |            |            |               |                |             |
|-------------------|-------------|------------|------------|---------------|----------------|-------------|----------------------|-------------|------------|------------|---------------|----------------|-------------|
| 科 目               | 合計          | 本部         | 山彦作業所      | やまびこ<br>第二作業所 | ワークショップ<br>石神井 | やまびこ<br>三原荘 | 科 目                  | 合計          | 本部         | 山彦作業所      | やまびこ<br>第二作業所 | ワークショップ<br>石神井 | やまびこ<br>三原荘 |
| 流動資産              | 120,436,348 | 22,253,956 | 26,703,508 | 18,983,470    | 16,844,833     | 35,650,581  | 流動負債                 | 17,966,439  | 0          | 3,411,301  | 4,316,738     | 3,665,402      | 6,572,998   |
| 現金預金              | 81,232,887  | 15,447,956 | 15,732,537 | 13,162,092    | 10,951,195     | 25,939,107  | 事業未払金                | 14,046,655  | 0          | 2,855,905  | 3,467,888     | 1,660,039      | 6,062,823   |
| 事業未収金             | 36,025,014  | 6,800,000  | 9,196,403  | 5,800,633     | 5,768,674      | 8,459,304   | 1年以内返<br>還予定設備資<br>金 | 984,000     | 0          | 0          | 0             | 984,000        | 0           |
| 前払金               | 1,453,710   | 0          | 91,882     | 18,120        | 91,538         | 1,252,170   | 預り金                  | 143,418     | 0          | 12,415     | 118,044       | 12,959         | 0           |
| 拠点区分<br>貸付金       | 1,688,686   | 6,000      | 1,682,686  | 0             | 0              | 0           | 職員預り金                | 1,016,280   | 0          | 541,481    | 156,006       | 232,960        | 85,833      |
| 仮払金               | 36,051      | 0          | 0          | 2,625         | 33,426         | 0           | 前受金                  | 87,400      | 0          | 0          | 0             | 0              | 87,400      |
|                   | 0           | 0          | 0          | 0             | 0              | 0           | 拠点区分<br>間借入金         | 1,688,686   | 0          | 1,500      | 574,800       | 775,444        | 336,942     |
|                   | 0           | 0          | 0          | 0             | 0              | 0           | 固定負債                 | 15,744,000  | 0          | 0          | 0             | 15,744,000     | 0           |
| 固定資産              | 159,830,681 | 10,000,000 | 6,946,967  | 6,611,060     | 135,471,403    | 801,251     | 設備資金<br>借入金          | 15,744,000  | 0          | 0          | 0             | 15,744,000     |             |
| 基本財産              | 140,697,094 | 10,000,000 | 0          | 0             | 130,697,094    | 0           | 負債の部<br>合計           | 33,710,439  | 0          | 3,411,301  | 4,316,738     | 19,409,402     | 6,572,998   |
| 建物                | 97,247,415  | 0          | 0          | 0             | 97,247,415     | 0           | 純 資 産 の 部            |             |            |            |               |                |             |
| 建物附<br>属設備        | 33,449,679  | 0          | 0          | 0             | 33,449,679     | 0           | 基本金                  | 14,500,000  | 0          | 13,000,000 | 0             | 0              | 1,500,000   |
| 定期預金              | 10,000,000  | 10,000,000 | 0          | 0             | 0              | 0           | 第3号基<br>本金           | 14,500,000  | 0          | 13,000,000 | 0             | 0              | 1,500,000   |
| その他の<br>固定資産      | 19,133,587  | 0          | 6,946,967  | 6,611,060     | 4,774,309      | 801,251     | 国庫補助金<br>等特別積立<br>金  | 109,159,769 | 0          | 139,334    | 0             | 109,020,435    | 0           |
| 建物附<br>属設備        | 66,051      | 0          | 0          | 0             | 0              | 66,051      | その他の<br>積立金          | 13,161,465  | 0          | 5,311,465  | 6,350,000     | 1,500,000      | 0           |
| 構築物               | 3,126,467   | 0          | 0          | 12,537        | 3,113,930      | 0           | 工賃変動<br>積立金          | 2,600,000   | 0          | 2,100,000  | 500,000       | 0              | 0           |
| 機械及<br>び装置        | 71,744      | 0          | 2          | 45,003        | 26,739         | 0           | 設備等<br>整備積立<br>金     | 10,561,465  | 0          | 3,211,465  | 5,850,000     | 1,500,000      | 0           |
| 車輛運<br>搬具         | 161,706     | 0          | 3          | 150,501       | 2              | 11,200      |                      |             |            |            |               |                |             |
| 器具及<br>び備品        | 1,586,554   | 0          | 1,409,897  | 53,019        | 123,638        | 0           |                      |             |            |            |               |                |             |
| 権利                | 225,000     | 0          | 150,000    | 0             | 0              | 75,000      |                      |             |            |            |               |                |             |
| ソフトウ<br>ェア        | 75,600      | 0          | 75,600     | 0             | 0              | 0           |                      |             |            |            |               |                |             |
| 工賃変<br>動積立資<br>産  | 2,600,000   | 0          | 2,100,000  | 500,000       | 0              | 0           | 次期繰越<br>活動収支差<br>額   | 109,735,356 | 32,253,956 | 11,788,375 | 14,927,792    | 22,386,399     | 28,378,834  |
| 設備等<br>整備積立<br>資産 | 10,561,465  | 0          | 3,211,465  | 5,850,000     | 1,500,000      | 0           | 次期繰越<br>活動収支差<br>額   | 109,735,356 | 32,253,956 | 11,788,375 | 14,927,792    | 22,386,399     | 28,378,834  |
| 出資金               | 10,000      | 0          | 0          | 0             | 10,000         | 0           | (うち当期<br>活動収支差<br>額) | 5,166,536   | 7,154,409  | -15,818    | -174,202      | -4,153,812     | 2,355,959   |
| その他の<br>固定資産      | 649,000     | 0          | 0          | 0             | 0              | 649,000     | 純資産の<br>部合計          | 246,556,590 | 32,253,956 | 30,239,174 | 21,277,792    | 132,906,834    | 29,878,834  |
| 資産の部<br>合計        | 280,267,029 | 32,253,956 | 33,650,475 | 25,594,530    | 152,316,236    | 36,451,832  | 負債及び<br>純資産の<br>部合計  | 280,267,029 | 32,253,956 | 33,650,475 | 25,594,530    | 152,316,236    | 36,451,832  |

法人全体

19年度 決算

|        |                                    | 合計          | 本部         | 山彦作業所      | 第二         | ワーク        | 三原荘        |
|--------|------------------------------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 工賃収支   | 1 就労支援事業収入                         | 18,549,009  | 0          | 10,106,372 | 5,428,720  | 3,013,917  | 0          |
|        | 2 下請作業収入                           | 11,442,951  |            | 3,000,314  | 5,428,720  | 3,013,917  |            |
|        | 3 弁当作業収入                           | 7,106,058   |            | 7,106,058  |            |            |            |
|        | 4 就労支援事業支出                         | 18,609,009  | 60,000     | 10,106,372 | 5,428,720  | 3,013,917  | 0          |
|        | 5 就労支援収支差額 5 = 1 - 4               | -60,000     | -60,000    | 0          | 0          | 0          | 0          |
| 事業活動収支 | 6 事業活動による収入                        | 207,942,677 | 863,356    | 59,208,417 | 44,173,950 | 49,044,677 | 54,652,277 |
|        | 7 訓練等給付費収入（B型）                     | 116,242,231 |            | 49,137,652 | 32,806,921 | 34,297,658 |            |
|        | 8 （就労移行）                           | 3,867,891   |            |            |            | 3,867,891  |            |
|        | 9 （共同生活援助）                         | 25,774,399  |            |            |            |            | 25,774,399 |
|        | 10 支援給付費収入（計画相談）                   | 6,080,427   |            | 1,414,838  | 3,059,926  | 1,605,663  |            |
|        | 11 利用者負担金収入                        | 6,232,897   |            | 2,100,900  |            |            | 4,131,997  |
|        | 12 補助金事業収入（区サービス推進費）               | 48,602,620  |            | 6,555,000  | 8,280,000  | 9,182,507  | 24,585,113 |
|        | 13 寄付金その他の収入                       | 1,142,212   | 863,356    | 27         | 27,103     | 90,958     | 160,768    |
|        | 14 事業活動による支出                       | 201,200,450 | 448,947    | 59,058,577 | 42,486,024 | 52,221,136 | 46,985,766 |
|        | 15 人件費支出                           | 157,757,207 | 283,010    | 47,830,750 | 36,435,743 | 45,922,145 | 27,285,559 |
|        | 16 事業費支出                           | 24,933,280  |            | 6,014,652  | 2,323,856  | 1,538,691  | 15,056,081 |
|        | 17 事務費支出                           | 18,509,963  | 165,937    | 5,213,175  | 3,726,425  | 4,760,300  | 4,644,126  |
|        | 18 事業活動による収支差額 18 = 6 - 14         | 6,742,227   | 414,409    | 149,840    | 1,687,926  | -3,176,459 | 7,666,511  |
| その他の収支 | 19 施設整備等による収入                      | 446,300     | 0          | 0          | 360,000    | 86,300     | 0          |
|        | 20 建築資金借入金 利息補助                    | 86,300      |            |            |            | 86,300     |            |
|        | 21 固定資産 除却収入（隣物件の敷金）               | 360,000     |            |            | 360,000    |            |            |
|        | 22 施設整備等による支出                      | 2,665,175   | 0          | 1,321,175  | 360,000    | 984,000    | 0          |
|        | 23 固定資産取得・除却支出                     | 1,681,175   |            | 1,321,175  | 360,000    |            |            |
|        | 24 建築資金借入金 元金返済                    | 984,000     |            |            |            | 984,000    |            |
|        | 25 その他の活動による収入                     | 8,121,175   | 6,800,000  | 1,321,175  | 0          | 0          | 0          |
|        | 26 拠点区分間繰入金収入                      | 6,800,000   | 6,800,000  |            |            |            |            |
|        | 27 積立等整備積立資産取崩収入                   | 1,321,175   |            | 1,321,175  |            |            |            |
|        | 28 その他の活動による支出                     | 6,800,000   | 0          | 0          | 1,500,000  | 0          | 5,300,000  |
|        | 29 拠点区分間繰入金支出                      | 6,800,000   |            |            | 1,500,000  |            | 5,300,000  |
|        | 30 その他の収支差額 30 = 19 + 25 - 22 - 28 | -897,700    | 6,800,000  | 0          | -1,500,000 | -897,700   | -5,300,000 |
|        | 31 当期資金収支差額合計 31 = 5 + 18 + 30     | 5,784,527   | 7,154,409  | 149,840    | 187,926    | -4,074,159 | 2,366,511  |
|        | 32 前期末支払資金残高                       | 97,669,382  | 15,099,547 | 23,142,367 | 14,478,806 | 18,237,590 | 26,711,072 |
|        | 33 当期末支払資金残高 33 = 31 + 32          | 103,453,909 | 22,253,956 | 23,292,207 | 14,666,732 | 14,163,431 | 29,077,583 |

## やまびこのペン

### 新型コロナウイルス騒動 に思うこと

山彦作業所

坂元 信幸

2020年前半は新型コロナウイルスに振り回された半年でした。この先すぐに収束するとはとても思えず、さらなる緊張と注意が必要な生活が続きます。山彦作業所では緊急事態宣言を受けて約3週間は全員を在宅支援とし、その後徐々に再開していますが、通常通りの体制に戻るにはまだ時間がかかりそうです。作業所内の三密を避けながら作業をどう動かしていくか悩ましいところです。

この間、国や東京都からは連日様々な通知、連絡がメールで届けられました。最初のうちはちゃんと目を通していましたが、あまりの量の多さに現場での混乱も大きかったように思います。

今回のコロナ騒ぎ、本当に歴史的な一大事として危機感を感じたのはいつ頃だったのでしょうか？ダイヤモンドプリンセス号で集団感染したときには、まだどこかで自分達に関わってくる事と意識はしていなかったように思います。

2月27日学校の一斉休校が発表されたとき、「これは大変な事になった」と思いました。あのとき危機感をはっきり感じたと思いましたが、あま

りにも計画性のない政治判断と思いました。状況の変化に対する見通しを語ることなく、いきなりの政策決定、政治判断は非常に危険なものを感じます。どさくさ紛れに何でもありみたいな感じを持ちました。前代未聞の事態であり対応に不手際があるのは致し方ない面もあると思いますが、だからこそ情報公開が大事ではないかと思っています。

さて、コロナ騒動の中で様々な横文字が飛び交いました。「パンデミック」「クラスター」「オーバーシュート」「ロックダウン」「ステイホーム」「ソーシャルディスタンス」等々。去年の大晦日の時点ではこんな言葉を聞いても「なんのこっちゃ」だったろうと思いますが、すつかり定着してしまいました。また、WHOのテドロス事務局長が「テスト、テスト、テスト」と3回繰り返し、PCR検査を呼びかけましたが、こういう場合の検査のことを「テスト」というのかとこの時はじめて知りました。

そんな中「GO TO キャンペーン」なる変な横文字が出てきました。そもそもこのキャンペーンは「GO TO トラベル」「GO TO イート(eat)」「GO TO イベント」の3要素から成り立っているのですが、強盗キャンペーンと言われたり、「GO TO トラブル」と揶揄されたり散々な上に、ついには東京都民は対象外とドタバタな事になってきました。連日200人超えの感染者状況では当然ともいえますが、拙速感はありません。

「東京アラート」という言葉も定義があやふやで、感染者が増えているにもかかわらず7月20日時点では発令される気配は全くありません。横文字言葉で一番ひんしゅくを買っていたのが「アベノマスク」だったのではないでしょう

か。これを横文字といえるか異論もあるでしょうし、正式名称でもないですが、皮肉なことにアベノマスクという言葉で、それにまつわる様々な混乱を多くの国民が理解できるという意味では非常に便利な言葉になってしまいました。ひいては今回のコロナ騒ぎに関する一連の対応の稚拙さを象徴しているように思います。

いずれにしてもコロナ関連の政策や救済策には行き当たりばつたりな感じがしてなりません。中でもこの横文字の政策には消化不良なまま、そしてあいまいな見通しのままで出てきた感がぬぐえません。情報としての政策や通知はどんどん出されるのですが、それを通しての安心感や信頼感が一向に湧いてこないのはどうなのか、考えてしまいます。

#### 作業風景(ソーシャルディスタンスをとって)







# まうんてんえこおの編集会議にて リモート会議を導入してみました！

まうんてんえこお編集会議にてリモート会議を導入してみました。  
その現状を報告致します。

新型コロナウイルスの影響により、交通機関利用による感染のリスク、各所で支援に従事している職員が接触することによる感染のリスク、新型コロナウイルスの終息が不透明な中、今後に備えてリモート会議に移行できる体制作りのため、リモート会議を導入しました。5月に1回目、7月に2回目を行いました。リモート会議の利点としては、移動時間の削減、会議日程の調整のしやすさ、などがありますが、反面、実際の会議より準備の時間がかかることや、PCを通すので意思の疎通がしづらい、等が感じられました。

## 編集人

社会福祉法人練馬山彦福祉会

東京都練馬区富士見台2-19-9  
TEL(03)3998-5023

## 発行人

障害者定期刊行物協会

東京都世田谷区祖師谷3-1-17  
ヴェルドウーラ102号室

頒価 20円

## 社会福祉法人 練馬山彦福祉会

### 本部

〒177-0034 東京都練馬区富士見台2-19-9  
TEL(03)3998-5023 FAX(03)3998-5035  
<http://nerimayamabiko-hukushikai.jp/>

### 山彦作業所（就労継続支援B型）

〒177-0034 東京都練馬区富士見台2-19-9  
TEL(03)3998-5023 FAX(03)3998-5035  
Email: ymbk@mvi.biglobe.ne.jp

### 山彦相談支援事業所（相談支援）

〒177-0034 東京都練馬区富士見台2-19-9  
TEL&FAX(03)3970-2365  
Email: ymbksoudan@xqd.biglobe.ne.jp

### やまびこ第二作業所（就労継続支援B型）

〒179-0081 東京都練馬区北町7-20-36  
TEL(03)3933-8935 FAX(03)5398-7681  
Email: ymbk2@mue.biglobe.ne.jp

### やまびこ第二相談支援事業所（相談支援）

〒179-0081 東京都練馬区北町7-20-36  
TEL&FAX(03)6906-9803  
Email: ymbk2-soudan@xvd.biglobe.ne.jp

### ワークショップ石神井（就労継続支援B型）

〒177-0041 東京都練馬区石神井町7-17-4  
TEL(03)5923-9811 FAX(03)5923-9812  
Email: work@msd.biglobe.ne.jp

### チャレンジワークやまびこ（就労移行支援）

〒177-0041 東京都練馬区石神井町7-17-4  
TEL(03)5923-9864 FAX(03)5923-9865  
Email: c.w.ymbk@xvg.biglobe.ne.jp

### ワークショップ石神井相談支援事業所（相談支援）

〒177-0041 東京都練馬区石神井町7-17-4  
TEL(03)5923-9818 FAX(03)3997-3650  
Email: wkcs@kzh.biglobe.ne.jp

### やまびこ三原荘（共同生活援助）

〒178-0063 東京都練馬区東大泉  
TEL(03)3978-6352 FAX(03)5935-6320  
Email: miharaso@mue.biglobe.ne.jp